



長野県上田市・阿南町との野球交流に参加して

A B O 60 秋本明美さん（長生町）



6月11日、亀尾副市長を団長とする野球交流訪問団は、長野県上田市に向け出発しました。到着すると、現地主催者やテレビ局の取材陣などたくさんの方々が出迎えてくれました。休む間もなく衣装に着替え、おもてなしチームと地元チーム「佐川サッポロ一番鶏」の試合で大声援を送りました。A B O 60は両チームに分かれて応援をするのですが、チームへの掛け声も「フレイフレイ」おも



てなし！」や、「カットバサー一番鶏！」などの声掛けをするなど、選手と一丸となった応援をすることができました。

次はいよいよ全日本生涯野球大会開会式でのパフォーマンスです。入場する各チームの選手皆さんから、「テレビ見たよ」「元気が出るよ」「A B O 60ってどういう意味？」などと声を掛けていただき、私たちの本番前の緊張をほぐしてくれました。

そして、3000人の野球愛好者が集う全日本生涯野球大会開会式へ。厳かに整列された式場で、前には全国の選手の皆さん、後ろには大会の多くの役員や来賓の方々の中で、精いっぱいのパフォーマンスを披露しました。主催者や来賓の方からも式典の中で「野球のまち阿南の応援団A B O 60は日本一！」と絶賛していただき、阿南市の交流団としての使命が果たせたと感激しました。

翌日には、救護施設阿南富草寮への訪問交流のあと、阿南町の新野小学校グラウンドでの「おもてなしチーム」と「阿南町チーム」との交流親善試合の応援に駆けつけました。応援の途中、グラウンド周辺の家々

からグラウンドのそばまで来て、「テレビで見たA B O 60が今、目の前にいる」「徳島県から交流を深めて来てくれたことに感動を覚えた」と言われ、現地の方々と思わぬ交流ができました。またダンスも披露し、とても喜んでいただきました。

夕方には阿南町の皆さんとの交流会が催され、町長さんはじめ多くの町民の皆さんに手厚く歓迎され、親しくお話をする機会を得られました。私は十数年前に阿南市の子ども会と阿南町を訪問したことがありましたが、当時お世話になった町職員の方が、訪問団の名簿で私の名前を見つけたと会いに来てくださり、とても感激しました。今後のさらなる交流や再会をお約束するなど新たな一歩になり、胸がいっぱいになりました。

今回の野球交流訪問団に参加できたことは、とても有意義でした。特にメディアの全国ネットの凄さを実感しましたし、ささやかな現地交流の大切さも体験させていただきました。これからも「野球のまち阿南の応援団A B O 60」として、阿南市の地域活性化の一翼を担っていききたいと思えます。

